

平成27年度 有老協サービス第三者評価結果

ホームID	ホーム名	法人名	評価日
2718	ドマーニ神戸	神鋼ケアライフ(株)	H27.12.14
有老協HPでの評価結果公表希望		有	
評価機関	「あい・ライフ」特定非営利活動法人あい・ライフサポートシステムズ		

評価結果

スケールNo.	自己評価	機関評価	スケールNo.	自己評価	機関評価	スケールNo.	自己評価	機関評価
1.1.1	A	A	2.3.4	A	A	6.1.3	A	A
1.1.2	A	A	2.3.5	A	A	6.2.1	A	A
1.1.3	A	A	2.3.6	A	A	6.2.2	A	A
1.1.4	A	A	2.3.7	A	A	6.2.3	A	A
1.2.1	A	A	2.3.8	A	A	6.2.4	A	A
1.2.2	A	A	2.3.9	A	A	6.2.5	A	A
1.2.3	A	A	2.3.10	A	A	6.2.6	A	A
1.3.1	A	A	2.3.11	A	A	6.2.7	A	A
1.3.2	A	A	2.4.1	A	A	6.2.8	A	A
1.3.3	A	A	2.4.2	A	A	6.2.9	A	A
1.4.1	A	A	2.4.3	A	A	6.3.1	A	A
1.4.2	A	A	2.4.4	A	A	6.3.2	A	A
1.4.3	A	A	2.4.5	A	A	6.3.3	A	A
1.4.4	A	A	2.4.6	A	A	7.1.1	A	A
1.4.5	A	A	3.1.1	A	A	7.1.2	A	A
1.4.6	A	A	3.1.2	A	A	7.2.1	A	A
1.4.7	A	A	3.1.3	A	A	7.3.1	A	A
1.4.8	A	A	3.1.4	A	A	7.3.2	A	A
1.5.1	A	A	3.1.5	A	非	7.3.3	A	A
1.5.2	A	A	3.1.6	A	A	7.3.4	A	A
1.5.3	A	A	3.1.7	A	A	7.4.1	A	A
2.1.1	A	A	4.1.1	A	A	7.4.2	A	A
2.1.2	A	A	4.1.2	A	A	7.4.3	A	A
2.2.1	A	A	4.1.3	A	A	7.4.4	A	A
2.2.2	A	A	4.1.4	A	A	7.4.5	A	A
2.2.3	A	A	4.2.1	A	A	7.5.1	A	A
2.2.4	A	A	4.2.2	A	A	7.5.2	A	A
2.2.5	A	A	5.1.1	A	A	7.5.3	A	A
2.2.6	A	A	5.1.2	A	A	7.5.4	A	A
2.2.7	A	A	5.2.1	A	A	7.5.5	A	A
2.2.8	A	A	5.2.2	A	A	7.5.7	A	A
2.2.9	A	A	5.2.3	A	A	7.6.1	A	A
2.2.10	A	A	5.2.4	A	A	7.6.2	A	A
2.2.11	A	A	5.2.4	A	A	7.6.3	A	A
2.3.1	A	A	5.2.5	A	A			
2.3.2	A	A	6.1.1	A	A			
2.3.3	A	A	6.1.2	A	A			

評価機関の所見

1. 優れた取り組みと思われる点

スケール	所見
2-3-5 2-3-6	運営懇談会細則に基づき、一般居室(吉番館)は年4回、介護居室(貳番館)は年2回(内1回はステーション毎)の運営懇談会を実施しています。実施前には入居者から意見を収集し、懇談会議題に加え各種要望の検討及び結果のフィードバックを行っています。また、各種サービスの提供内容や職員の対応、取り入れて欲しい外部サービスなど、細かな入居者アンケートを取り、具体的な意見に対する対応内容や、満足度の数値結果を全入居者に報告しています。更に、運営懇談会とは別に、運営状況報告会を年一回開催し、各ステーション毎の収支及び入居状況、職員体制等の運営状況の報告を行っています。この報告会は法人の代表が必ず出席し、直接入居者とふれ合い意見を聞く場となっています。運営懇談会は入居者自身が入居している館としての懇談会ですが、運営状況報告会はそれぞれのステーションの運営状況を報告するため、入居者自身が将来的に介護が必要になり介護居室への住み替えを行う際の不安除去や、安心感を得てもらう事に効果を発揮しています。
6-3-2	ケアマネジャーで認知症ケア専門士の資格を持つ専門職員により、認知症対応の研修会の開催や、専門医による事例検討会を行い、職員の認知症対応についての知識や技術の向上に努めています。専門職員は当ホームのみならず、法人の運営する他ホームの研修も行っており、法人を挙げて認知症の専門的な対応を啓発しています。また認知症ケアを「ふるさとプログラム」として、回想法を取り入れ認知症のある入居者の精神的な安定や記憶力の改善に努めています。
4-1-1 7-2-1	日々の生活相談への対応に加え、外部の専門家による、税務や相続等の相談会を毎月実施しています。これに加え、心理カウンセラーによるカウンセリングを実施しています。うつ状態や閉じこもりがちな入居者へは時間をかけて同意してもらい、カウンセリングが受けられるよう心理面での支援も行っています。また買い物ツアー(百貨店やスーパーなど数カ所)や様々なレクリエーションの企画、同好会支援、各種教室の実施など、入居者の生活意欲の維持向上に努めており、閉じこもりがちな方へはこれらの外出企画等をケアプランに盛り込み、生活意欲・心身機能の向上にも努めています。
7-4-1	排泄チェック表により、支援の必要な入居者の排泄パターンを把握、また個々の排泄サインを把握し、トイレでの排泄ができるよう計画的に支援しています。また、パッドや夜間のオムツも、サイズ別だけでなく、入居者個々の身体特徴に合うようメーカー選定も行い、最適なものを提供できるようにしています。更に、脳性麻痺による重度の身体の障害がある方にも、オリジナルのクッションや背当てを作成するなど、ベッドでも適切な座位が確保できるようにし、座ってテレビを見れるようにしたり、独自に改良した差し込み便器を利用しての排泄が行えるよう、トイレでの排泄自体が困難な方にも、本人が望む最適な形での排泄支援を実現しています。
7-5-4	一人で外出する事が困難な入居者へは、散歩や近隣への買い物などの外出をケアプランに組み込み、外出機会を増やす事で、生活意欲が向上するよう計画的に取り組んでいます。2ヶ月に一度行われる買い物ツアーには、一人での外出が困難な方にも参加していただき、各方面への買い物に出てもらえるよう支援しています。この活動が閉じこもりの予防にもつながっています。
7-5-6	主に認知症のある入居者が生活されるフロアは、エレベータから降りてすぐの廊下に、海と山に囲まれた神戸ならではの風景が、昭和初期の様相で描かれており、置かれたバスの停留所やベンチが、その懐かしい風景の中で昔を思い出しながら過ごせるよう工夫されています。また昔ながらの炊飯釜や古い筆筒、足踏みミシンなどが置かれた共有スペースでは、若い頃に暮らしたであろう懐かしい雰囲気を出してあり、入居者が穏やかに過ごせるよう配慮されています。これも6-3-2で記載した「ふるさとプログラム」の一環で、回想法の取り組みとなっています。